

令和3年度大学院入学試験問題

(前期募集)

教育実践高度化専攻

学習臨床・授業研究コース

注意事項

- 1 問題用紙と解答用紙とは別である。
- 2 解答は、解答用紙のマス目にそって記入すること。
- 3 解答用紙の1枚目の所定の欄に問題番号を記入すること。
- 4 解答用紙の1枚目、2枚目及び3枚目の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 5 試験終了後は、解答用紙のみ回収する。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ること。

次の問題1から問題3の中から1問を選んで、1200字程度で論述しなさい。

問題1

「総合的な学習の時間」における探究課題の解決を通して育成を目指す資質・能力のうち、知識及び技能については、「他教科等及び総合的な学習の時間で習得する知識及び技能が相互に関連付けられ、社会の中で生きて働くものとして形成されるようになること」に配慮することが求められている（『小学校学習指導要領（平成29年告示）』、『中学校学習指導要領（平成29年告示）』、平成30年）。

このことを踏まえて、あなたは「総合的な学習の時間」において、どのような学習活動を構想し展開しますか。対象とする学校種や学年、意義やねらい、具体的な学習活動内容を示しながら、あなたの考えを論述しなさい。

問題2

新型コロナウイルス感染症の影響によって、ICTを活用した遠隔教育が推進されています。遠隔教育において、あなたはどのような学習活動を構想し展開しますか。対象とする学校種や学年、意義やねらい、必要なICT機器、具体的な学習活動内容を示しながら、あなたの考えを論述しなさい。

問題3

学習指導要領（平成29年告示）の下では、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通して各教科等における資質・能力を育成することが目指されています。その資質・能力の育成にあたっては、学習評価が重要な役割を担うとされています（「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」、文部科学省 平成31年3月29日）。

ここで、学習評価の機能は、児童生徒の学業成績の評定が主たる目的ではなく、次の点が重視されています。

- (1) 児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと
- (2) 教師の指導改善につながるものにしていくこと

こうした学習評価を実現していくために教師はどのような評価方法を用いたり、工夫したりすることができると考えますか。いずれかの教科等をとりあげ、具体的な例を示しながら、あなたの考えを論述しなさい。